

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37624
事業名	震災対策用消防水利整備促進費					
評価担当課	所 属	消)警防部 消防救助課			電話番号	011-215-2060
施策名	強じんな消防・救急体制が構築され、市民の安全・安心が守られて					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	平成7年に発生した阪神淡路大震災では、水道管の寸断等により消火栓が使用できなくなり、多発する火災に対して消火活動を行う事が出来なくなった。 当該震災前から当市にも、防火水槽は市内に複数設置してたが、整備されてない地域も存在しており、市民の安全・安心を守るために計画的に整備し、未整備地域を無くす必要がある。
	事業内容 (何を実施し)	【取組内容】 市内の市街化区域を500m四方のメッシュに区切り、住宅密集度が高く(平均建ぺい率40%以上)防火水槽や自然水利等がない地域に対して耐震性貯水槽を整備する。設置場所は公園を基本としており、令和6年度整備予定分を含め、残り13基を整備する必要がある。 令和6年度は実施設計及び整備が各2基、令和7年度は実施設計及び整備が各2基、令和8年度は2基の整備、令和9年度は2基の実施設計を実施する。 令和6年度88%→令和9年度92% 【実施結果】 札幌市地域防災計画にも耐震性貯水槽の整備について記載し、毎年計画的に整備を続けてきており、人口が比較的多い平均建ぺい率40%以上の地域に対して、令和5年度には2基の整備と2基の実施設計を行い、残り13基の整備が必要となっている。
	どのような状態にしたい (状態を維持したい)	災害に強い都市基盤を整備する。
	他都市の状況	他都市においても大規模地震災害等に備え、耐震性貯水槽を整備している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	24,409 千円	うち特定財源	24,000 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	51,000 千円	うち特定財源	51,000 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度決算額	47,544 千円	うち特定財源	47,000 千円	正規職員業務量	1 人工
令和6年度予算額	51,000 千円	うち特定財源	51,000 千円	正規職員業務量	1 人工

指標	アウトプット 活動指標1	耐震性貯水槽の整備数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		1基	2基	2基	2基	2基	2基
	↓						
	アウトカム 成果指標1	なし				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方						
	アウトプット 活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム 成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	整備地が限られており設置条件が悪化してきている事から、関係部局と連携を図り、追加整備が無いようにする。